

魚類

No.	目名	科名	種名(和名)	学名	最終記録年	重要種					外来種
									区部	本土部	
1	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	2009			EN	EN	EN	
2	コイ	コイ	コイ(飼育型)	<i>Cyprinus carpio</i>	2021						
-			コイ(型不明)	<i>Cyprinus carpio</i>	2022						
-			コイ(改良品種型)	<i>Cyprinus carpio</i>	2016						
3			ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	2014						
4			キンギョ	<i>Carassius auratus</i>	2016						
5			キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp.2	2006			VU	CR	VU	
6			ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	2021				DD	DD	
-			フナ属	<i>Carassius</i> sp.	2022						
7			タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>	1974			EN	EX	EX	
8			タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	2015						
9			ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	1974						
10			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	2022				DD	DD	
11			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	2022						
12			ヌマムツ	<i>Candidia sieboldii</i>	2019						
13			ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>	2015						
14			アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>	2022				NT	NT	
15			マルタ	<i>Pseudaspius brandtii maruta</i>	2021				留	留	
16			ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>	2021						
-			ウグイ属	<i>Pseudaspius</i> sp.	2022						
17			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	2022						
18			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	2022						
19			カマツカ類	<i>Pseudogobio esocinus complex</i>	2022						
-			カマツカ属	<i>Pseudogobio</i> sp.	2001				EX <sup>注5</sup>	CR <sup>注5</sup>	
20		ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>	1974							
21		ニゴイ	<i>Hemibarbus barbatus</i>	2020				NT	NT		
22		スゴモロコ属	<i>Squalidus</i> sp.	2022							
23		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	2021			NT	CR	CR	
-			ドジョウ類	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i> sp.complex	2022			NT・DD <sup>注6</sup>	CR・EX <sup>注6</sup>	CR・EN <sup>注6</sup>	
24			ヒガシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C	2022						
-			シマドジョウ種群	<i>Cobitis biwae</i> complex	1974				VU <sup>注7</sup>	NT <sup>注7</sup>	
-			ドジョウ科	<i>Cobitidae</i> sp.	2022						
25		フクドジョウ	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	2001			EN	CR	EN	
26	ナマズ	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	2022						
27	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	2020						
28	ボラ	ボラ	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	2019						
29	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	1974					特	
30	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	2022			VU <sup>注8</sup>	CR	CR	
-			メダカ(飼育品種)	<i>Oryzias latipes</i>	2022						
-			Oryzias属	<i>Oryzias</i> sp.	2019						
31	スズキ	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	2018						
32		サンフィッシュ	コクチバス	<i>Micropterus dolomieu dolomieu</i>	2020						
33		ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	2020						
34			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	2022						
35			カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	2022						
36			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	2015				CR	CR	
37			トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.OR unidentified	2022				VU	EN	
-			ヨシノボリ属	<i>Rhinogobius</i> sp.	2016						
38			スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>	2022						
39			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	2022				NT	NT	
40			タイワンドジョウ	カムルチー	<i>Channa argus</i>	2014					
確認種数						0種	0種	7種	17種	17種	1種

注1) 種名および分類については、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度」(令和5年,国土交通省)に準拠した。

注2) 11属、類などについては、他種との重複の可能性がある場合は1種として計数しなかった。

注3) 重要種 ~ の凡例は以下の通りである。

「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号、改正:平成26年7月13日法律第69号)

国天: 国指定天然記念物

「改正・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年7月5日法律第75号、改正:平成30年7月1日)

国内: 国内希少野生動植物種

「環境省レッドリスト2020の公表について」(令和2年3月27日発表:環境省ホームページ)

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 A類、CR: 絶滅危惧 B類、EN: 絶滅危惧 C類、VU: 絶滅危惧 D類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

「東京都レッドデータブック2023本土部」(令和5年:東京都環境局)

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 A類、EN: 絶滅危惧 B類、VU: 絶滅危惧 C類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、留: 留意種

注4) 外来種は、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」における「特: 特定外来生物」および「未: 未判定外来生物」に指定された種とした。

注5) カマツカ属は、文献に「カマツカ」と記録されていた種である。カマツカは近年分類が細分化されたため該当種が明らかにならなかった。調査地に自然分布する種であるスナゴカマツカの場合は重要な種に該当する。

注6) ドジョウ類は、資料に「ドジョウ」と記録されていた種である。ドジョウは近年分類が細分化されたため該当種が明らかにならなかった。調査地に自然分布する種はドジョウ及びキタドジョウであり、ドジョウの場合はiii:NT、:区部、本土部ともCR、キタドジョウの場合はiii:DD、:区部でEX、本土部でENに該当する。

注7) シマドジョウ種群は、資料に「シマドジョウ」と記録されていた種である。シマドジョウは近年分類が細分化されたため該当種が明らかにならなかった。調査地に自然分布する種はヒガシシマドジョウであり、その場合はiv:区部でVU、本土部でNTに該当する。

注8) ミナミメダカについて東京都レッドデータブックには、「捕獲される水域はかなり広いが、その多くは在来個体群ではなく放流された個体由来する。」と記されている。在来個体群の場合は、iii:VU、iv:CRに該当する。